

令和4年7月13日

## ▼タイトル

令和4年度 高島市協働提案事業

再エネ、省エネ貯金でつくる未来

今ある資源で豊かなまちづくり 第2回の開催について

世界は、地球温暖化による気温上昇を1.5℃に抑えるため、2050年二酸化炭素排出ゼロの脱化石燃料の社会を目指しています。

今年度の高島市協働提案事業では、FEC 自給圏ネットワークと高島市環境政策課が協働で、太陽光発電の普及と省エネルギーの大切さについて理解していただくための講演会「再エネ、省エネ貯金でつくる未来 ～今ある資源で豊かなまちづくり～」を開催します。

第2回は「地球環境と私たちの生活を同時に良くしていこう」と題し、住宅や建物の省エネと森林の二酸化炭素吸収力の役割などについて2名の方にご講演頂きます。講演は会場とオンライン（Zoom）の同時開催です。ぜひご参加ください。

## ○第2回講演会の概要

開催日：令和4年7月16日（土）

開催地：安曇川公民館（安曇川町田中89番地）オンライン（事前申し込みが必要）

時間：午後1時30分から午後4時まで

内容：講演1「地球環境と私たちの生活を同時に良くしていこう」

講師：竹内 昌義さん（建築家／東北芸術工科大学デザイン工学部

建築・環境デザイン学科 教授／HEAD 研究会エネルギータスク

フォース 東北芸術工科大学+エネルギーまちづくり社）

講演2「林業の川上と川下で始まる新しいチャレンジ～木を植えて、木を使う～」

講師：清水 安治さん（エーゼロ(株)滋賀支社長／高島市森林組合代表理事  
組合長

主催：高島市、FEC 自給圏ネットワーク

申込先：高島市環境政策課（0740-25-8123）

または <https://forms.gle/7uvjYcwK2fxRbquH7>

## ▼問い合わせ先

○所属：環境部 環境政策課

○担当：古谷、谷本

○電話番号：0740-25-8123

○ファックス：0740-25-8156

○メール：kankyo@city.takashima.lg.jp

今、足元にある  
資源!で豊かな未来

6.18 <sup>2022.</sup> **土**  
13:30-16:00

木村 道德さん  
滋賀県琵琶湖環境  
科学研究センター

気候変動や少子高齢化や人口減少、  
地場産業の衰退などにより、地域社  
会を取り巻く諸問題を概観し、現状  
を把握するとともに、脱炭素社会を  
目指す 2040 年の高島市の将来社会  
像を提案します。

田中いづみさん  
デンマーク大使館  
上席商務官 (エネ  
ルギー・環境担当)

脱炭素化を図り、再生可能エネ  
ルギーの導入を積極的に導入している  
デンマークに学ぶ、熱、液体燃料 (ガ  
ソリンなど) を含む全てのエネ  
ルギー媒体のグリーン化とは?

地球環境と自分たちの  
生活を同時に  
良くしていこう。

7.16 <sup>2022.</sup> **土**  
13:30-16:00

竹内 昌義氏

建築家 / 東北芸術  
工科大学デザイン  
工学部建築・環境  
デザイン学科 教授

「日本の家は、風通しが良く、夏涼  
しい家が良い」と、冬の寒さに我慢  
するのが当たり前でしたが、実は、  
冬にヒートショックで亡くなる方が  
多い現実があります。住宅や建物の  
断熱性能を上げることは、健康に良  
いばかりではなく、地球温暖化の防  
止にも役立つということを紹介。

清水 安治さん  
エーゼロ (株)  
滋賀支社長

琵琶湖水源の森林が生み出す多様な  
役割と価値。  
地球環境と地域経済の持続性を促す  
実践例とは。

地域の豊かな自然で  
エネルギーの  
地産地消を

9.17 <sup>2022.</sup> **土**  
13:30-16:00

伊藤 慎吾さん

株式会社コープエ  
ナジーなら小水力  
発電・地域再エネ  
計画づくり担当

エネルギーの地産地消を目指し、「地  
域のエネルギー資源のポテンシャル  
を測る」「エネルギー需要を知る」、「エ  
ネルギー創出とマネジメントの担い  
手を地域で育てる」という「ゼロ・カー  
ボンの地域づくりの工程表」づくり  
が市民参加で始まっています。

太陽光発電は、  
これからどうなる?

10.15 <sup>2022.</sup> **土**  
13:30-16:00

豊田 陽介さん  
NPO 法人気候ネッ  
トワーク 上席研究  
員

太陽光発電による PPA やゼロ円ソー  
ラー、ソーラーシェアリング等の事  
業可能性や、地域新電力と連携した  
エネルギーの地産地消の取り組み、  
その他、太陽光発電の「真実」や、  
さまざまな再エネ普及の動向につ  
いて紹介します。

谷 仙一郎さん  
NPO 法人元気な  
仲間代表理事

地域でできる再生可能エネルギーへ  
の転換を、福祉施設の大きな屋根の  
活用、市民との協働で進めるさまざ  
まな可能性と、エネルギー自給への  
道について。

令和 4 年度高島市協働提案事業  
再エネ、省エネ貯金で  
つくる未来  
今ある  
資源で豊かな  
まちづくり  
会場：今津東コミセン 3F 大ホール (6/18のみ)  
安曇川公民館 2F 視聴覚室 (7,9,10月)  
参加費：各回無料  
定員：40名 (Zoom でのご参加も受付中)

世界は、地球温暖化による気温上昇を 1.5°C に抑えるため、  
2050 年二酸化炭素排出ゼロの脱化石燃料の社会を目指してい  
ます。それはどんな暮らし、社会なのか。  
高島市民のみなさんで考えるチャンスといえます。学び、交流  
する会を計画しました。ぜひご参加ください。

#### 会場アクセス

6/18 の会場  
今津東コミセン  
(高島市今津町中沼 1-4-1)

[電車]  
JR 湖西線「近江今津駅」  
東口より北へ徒歩 3 分  
※高島市民会館向かい側



7/16, 9/17, 10/15 の会場  
安曇川公民館  
(高島市安曇川町田中 8 9 番地)

[電車]  
JR 湖西線「安曇川駅」  
西口より徒歩 10 分



詳細とお申し込み：裏面記載事項をご確認ください

主催：高島市、FEC 自給圏ネットワーク

申込先：高島市環境政策課 0740-25-8123/ 問い合わせ先：FEC 自給圏ネットワーク 090-3870-8345 (福井)

# 登壇者

## 6.18<sup>2022</sup> 今、足元にある資源！で豊かな未来

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター



木村 道徳さん

2008年滋賀県立大学博士号（環境科学）を取得後、同年、大阪大学サステナビリティ・サイエンス研究機構特任研究員として従事。2010年科学技術振興機構低炭素社会戦略センター研究員を経て2012年より滋賀県琵琶湖環境科学研究センターに勤務。主に持続可能な社会に向けた、気候変動などのグローバルな問題から地域コミュニティの課題までを市民と一緒に考え行動する方法について研究を行っている。

デンマーク大使館  
上席商務官（エネルギー・環境担当）



田中いずみさん

1998年カリフォルニア大学天然資源学部環境科学・マネジメント・政策科終了後、株式会社東芝で環境技術の研究、スウェーデン大使館で科学技術、環境、エネルギー政策の分析に従事。2008年東北大学環境科学研究科博士前期課程修了、修士。2014年1月から現職に従事。

## 7.16<sup>2022</sup> 地球環境と自分たちの生活を同時に良くしていこう

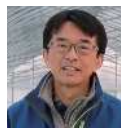
建築家 / 東北芸術工科大学 デザイン工学部建築・環境デザイン学科 教授



竹内 昌哉さん

1962年神奈川県生まれ。1988年東京工業大学院理工学専攻建築学専攻修士課程修了。2001年～東北芸術工科大学デザイン工学部建築・環境デザイン学科助教授。専門は建築デザインとエネルギー。2008年～同教授『みかんぐみ』共同代表エネルギーまちづくり社代表取締役 Passive House Japan 理事『未来の住宅』『カーボンニュートラルハウスの教科書』『原発と建築家』『図解 エコハウス』

エーゼロ株式会社  
滋賀支社長  
高島市森林組合代表理事組合長



清水 安治さん

1961年高島市生まれ。滋賀県職員、高島市職員を経て2016年にローカルベンチャー育成や地域商社、農林水産業、障がい福祉等を運営するエーゼロ（株）の発足と同時に参画。地域のモノ・コト・ヒトの価値を再評価し、住まいや暮らし、なりわいの選択肢を生み出すため、農業や林業と福祉の連携、加工、販売、指定管理、宿泊、人材育成等の事業を展開している。

## 9.17<sup>2022</sup> 地域の豊かな自然でエネルギーの地産地消を

滋賀県 CO<sub>2</sub> ネットゼロ推進課

株式会社コープエナジーなら小水力発電・地域再エネ計画づくり担当



伊藤 慎吾さん

家庭や事業所における CO<sub>2</sub> ネットゼロの推進に関することや、次世代自動車の普及促進に関すること。再生可能エネルギーの導入の推進に関するなどを推進している部署です。

1971年奈良県生まれ。現在株式会社コープエナジーなら小水力発電・地域再エネ計画づくり担当。これまで、京都府地球温暖化防止活動推進センター事務局長、総合資源エネルギー調査会省エネルギー基準部会臨時委員、関西小水力利用推進協議会理事など歴任。共著「地域・市民協働発電所の作り方」（かもがわ出版）など

## 10.15<sup>2022</sup> 太陽光発電は、これからどうなる？

特定非営利活動法人  
気候ネットワーク  
上席研究員



豊田 陽介さん

1977年広島県生まれ。立命館大学大学院修士課程修了。専門は、再生可能エネルギー政策。現場での実践と研究をおして地域を主体にした再生可能エネルギー導入・普及のためのコンサルティングや地域新電力の設立支援に取り組む。この他、京都市全小学校での脱炭素教育のコーディネーター等も務める。龍谷大学非常勤講師。たんたんエナジー株式会社取締役。TERAenergy 株式会社取締役。著書に、「エネルギー・ガバナンス」（学芸出版、2018年）、「エネルギー自立と持続可能な地域づくり」（昭和堂、2020年）などがある。

NPO 法人元気な仲間代表理事 / NPO 法人街かどケア滋賀ネット 理事長



谷 仙一郎さん

1965年生まれ。高島市出身。家業のごんやく屋の3代目として働いていた2001年に受講したホームヘルパー養成講座の学びから、地域づくりの重要性を痛感。2003年、NPO法人を立ち上げる。民家を使ったデイサービスなど介護保険制度の事業とともに、住民同士の助け合い活動の仕組みを作ったり、居場所づくり、住民が参加しての地域づくりにも取り組んでいる。また、地球の環境保全にも注目し、自分達の使う電気は自分達で作ろうと、太陽光発電による市民共同発電所に取り組んだりしている。

## 参加申込書

必要事項について電話、fax、メールのいずれかにて申し込みください。右記 QR コードより受付もしております。



受付フォーム

ふりがな	年齢 例：40代	お電話番号
お名前		
〒 ご住所		
メールアドレス（Zoom 受講の方必須）		

参加日程	6/18(土)	7/16(土)	9/17(土)	10/15(土)
参加方法 (✓印)	<input type="checkbox"/> 会場 <input type="checkbox"/> オンライン	<input type="checkbox"/> 会場 <input type="checkbox"/> オンライン	<input type="checkbox"/> 会場 <input type="checkbox"/> オンライン	<input type="checkbox"/> 会場 <input type="checkbox"/> オンライン

申し込み先：高島市環境政策課  
0740-25-8123 fax 0740-25-8156  
kankyo@city.takashima.lg.jp



問い合わせ：FEC 自給圏ネットワーク（福井）  
090-3870-8345 (f.fukui230721@gmail.com)